

# 牛久：学校周辺に見る自然

第67号

ひたち野みずべ公園(ひたち野うしく小)

2021年3月19日発行

## ＜ フィールドサイン、その他 ＞

ひたち野うしく小4年生と歩いた、冬のみずべ公園。今回は、フィールドサインやぬけがらなどです。



モグラ塚(左)と、カモの足あと(右)。どちらも、冬でも活動していることを示す。

生き物の姿は見つからなくても、その活動のあとを見つけることがあります。たとえば、モグラ塚。これは、モグラがトンネルを掘った土を、地面に押し上げて積まれたものです。つまり、モグラは冬でも活動していることの証拠にもなります。カモの足跡も見られました。これらを、「フィールドサイン」とよんでいます。



冬が繁殖期、ナメクジの卵(左)。クワコのまゆ(右：からっぽ)。

ナメクジは、卵も親も見つけてくれました。ナメクジの繁殖期は、冬が中心なのだそうです。その他、中は空っぽですがハチの巣があちこちで、セミのぬけがらもいろいろ、アブラゼミの羽やクワコのまゆ(から)もありました。

【理科支援員：宮内】



ムモンホソアシナガバチ (左上)、コガタスズメバチ (右上) などハチの巣いろいろ。アブラゼミのはね。  
ニイニゼミ (左下) とアブラゼミのぬけがら (右下)。